

高校生 シンポジウム

イネ研究最前線

イネは世界三大穀物のひとつで、多くのアジア地域で主食を担う重要な作物です。日本へ入ってきたのは縄文時代後期頃と考えられており、長い年月をかけて品種改良されてきた結果、現在の品種は多収でおいしく、虫や病気にも強くなりました。この品種改良を支える学問が育種学です。2004年12月にイネの全ゲノムが解読され、イネには3万~4万個の遺伝子があることが明らかになりました。その後、多くの研究者の努力により遺伝子の機能が少しずつ明らかになり、新しい品種がどんどん出てくるようになりました。

今回のシンポジウムでは日本の育種学の最前線で活躍する一流の先生方がそれぞれの研究分野を高校生のみなさんにわかりやすく紹介していただきます。最先端の研究に触れて、植物科学、ひいては科学一般に興味を感じてもらえる機会となれば幸いです。

日時: **8月24日(水) 14:00~**

場所: **吉備国際大学南あわじ志知キャンパス 大講義室**
高梁キャンパス 10号館 10110教室 (TV会議システムにて中継)

Program

14:00~14:10 **ご挨拶**

吉川 貴徳 (吉備国際大学 地域創成農学部 講師)

なぜ夏にサクラは咲かないのか?

14:10~14:45 **花芽分化の仕組みとその応用**

齋藤 大樹 (京都大学大学院 農学研究科 助教)

14:45~15:20 **イネの祖先を巡る旅**

小出 陽平 (北海道大学 農学研究院 助教)

15:20~15:30 (休憩)

15:30~16:05 **植物の形づくり - 突然変異体の面白さ -**

桧原 健一郎 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教)

16:05~16:40 **トランスポゾンって何? - 進化から学ぶ植物育種 -**

築山 拓司 (近畿大学 農学部 准教授)

主催: **吉備国際大学**

お問い合わせ先

吉備国際大学地域連携センター
<http://coc.kiui.ac.jp>

南あわじ志知キャンパス
兵庫県南あわじ市志知佐礼尾370-1
TEL 0799-42-4708

高梁キャンパス
岡山県高梁市伊賀町8
TEL 0866-22-9050